

令和5年度 四街道中学校経営方針

校訓（教育理念）

～自律・貢献～

○自律とは

志をもって、自ら考え、自ら判断し、自ら決定し、自ら行動する資質

○貢献とは

自他の尊重や他への感謝の気持ち

何事にも思いやりと誠意をもって取り組み、他と共によりよく生きる

よりよい未来を夢見て、創造と挑戦により、よりよい社会の一員となる

1 学校教育目標

高い知性と豊かな心を身につけ、たくましく生きる生徒の育成

◎高い知性とは

習得した知識や技能を自分なりに解析し、理解し、選択して公正に判断することができるとともに、先見性を持って新しい考えを創造できる力

◎豊かな心とは

生命を大切にし人権を尊重する心、他人を思いやる心や社会貢献の精神、正義感や自立心、困難に負けない強い心、責任感などの道徳的価値を大切にする心

◎たくましさとは

心身ともに健康で、夢や目標に向かって、諦めることなく、自覚と誇りを持って全力で取り組む態度

2 具体目標

【めざす生徒像】

○よく考え、自ら学ぶ生徒

基礎的・基本的な知識・技能を習得し、様々な事柄と結びつけて考え、自ら課題を見出し、体験や調べたことを基に考えをまとめ表現できる生徒

○思いやりがあり、正しく判断できる生徒

思いやりがあり、奉仕に励み、自然や命あるものを大切にし、自らを律し、物事の是非を的確に判断し、集団の一員として積極的に活動する生徒

○明るく、健康な生徒

明るく、礼儀正しく、自ら健康や体力の向上に努め、常に前向きな態度と実践力を持ち、感動を忘れない生徒

【めざす教師像】

○使命感に燃え、チームワークを大切にする教師

心身ともに健康で、職務に誇りと責任を持ち、組織で教育活動を行う。

○生徒の声に耳を傾け、生徒のために動く教師

生徒との信頼関係構築を第一とし、生徒の声に耳を傾け、生徒を認め、教育活動を行う。

○生徒や保護者、地域の期待に応え、信頼される教師

生徒や保護者、地域住民の教育的ニーズを適切に捉える。

【めざす学校像】

○学校生活や社会で役立ち、人生を豊かにする生きた学力を育てる学校

各教科の基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと習得させるとともに、全教育活動において学んだ知識や技能を活用する力を育む。

○人生をよりよく生きるために必要な、豊かな心と健やかな体を育む学校

様々な体験活動を通し、命あるものを大切にできる心、困難に負けない強い心、思いやりや規範意識を育み、社会生活を送る上で必要な体力を身につける。

○地域とともに歩む学校

保護者や地域の声に耳を傾け、開かれた学校づくりを進め、安全安心で信頼される温かい学校づくりに努める。

3 経営の基本方針

(1) 小中一貫教育の推進

○義務教育9年間を一体的に捉え、小中学校で目指す児童生徒像を共有し、学習面・生活面ともに系統化された教育活動を実践する。

(2) 生徒一人一人の確かな成長のための教育活動

○教師が自らの使命と責任を自覚し、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援を行う。

○教師の熱い思いを語り、創意と工夫により魅力ある学年・学級経営を行う。

(3) 心身ともに健康で、夢や希望を育む教育実践

○命の尊さを実感し、自分自身を大切に思える気持ち、他者への関心・共感を深めることの大切さを理解させる命を大切にできる心を育む教育を充実する。

○夢や希望をもって、心豊かに生きられるように必要な資質や能力を身につける。

(4) 生徒指導の機能を生かした教育活動の展開

○生徒一人一人の人権を尊重し、生徒と生徒、生徒と教職員間の豊かな人間関係を築き、生徒も教師も誇りに思える学校づくりを行う。

○教育的ニーズを把握し、様々な困難を改善するための適切な支援を行う。

(5) 明るく元気でエネルギーに溢れ、励まし合い支え合う職員集団

○教育公務員としての高い倫理観とコンプライアンス意識を備えた職員集団を構築する。

○職員一人一人が、経営に積極的に参加しようとする雰囲気を、温かく活力ある職員集団をめざす。

○報告・連絡・相談を励行し、教育目標達成に向けて努力する。

(6) 教育力の向上を図る研修と校務分掌を効果的に運用した学校運営

○授業研究を含めた校内研修の充実と学校外研修に参加する。

○組織を効果的に運用して、迅速に課題解決を図る。

(7) PDCAサイクルによる学校運営、開かれた学校づくり

○行事終了後の反省や様々なアンケート結果、学校評価の分析を行い改善を図る。

○生徒、保護者や地域住民の声も教育活動に反映し、地域コミュニティの核になるように努める。

4 教育目標の重点

(重点目標)

(1) 教科指導の充実

基礎的・基本的な知識と技能を確実に習得させるとともに、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などを活用する力を育む。

(2) 全ての教育活動を通じての人格教育

全ての人間の尊厳や異なった考えや文化・習慣を受け入れられる気持ちを育て、思いやりをもって人と接し、命を大切にすると心と人権尊重の精神を育む。

(3) 地域貢献しようとする態度の育成

地域の歴史、自然、文化を学び、ふるさとに誇りと愛着を持ち、自ら地域の一員として積極的に地域社会と関わろうとする態度を育む。

(4) 健やかな体を育む体育・健康教育の推進

家庭と連携し、生涯にわたって健康で充実した生活を営むための基礎的な能力を培い、自ら健康で安全な生活が送れるよう健康増進・体力向上に努める態度を育む。

(5) 一人一人の教育的ニーズ合った適切な教育支援

共生社会の実現に向けて、障害の有無、文化、人種等によって分け隔てをせず、人格と個性を尊重し合える豊かな感性を育む。

5 教育目標の重点を具現化するために

(1) 学級経営の充実

- 学級は、学校教育の原点であり、具体的場面である。
- 心の居場所、絆づくりの場としての学級と正義が通る学級づくりに努める。
- 生徒一人一人が、自分自身を価値ある存在と認め、自分を大切に思う自尊感情を育み、学級の中で存在感を確認できるようにしていく。
- 学級集団づくりに努め、リーダーの育成を図る。

(2) 教科の授業改善

- 年間指導計画に基づき、授業時数の確保に努め、新しい学習指導要領を確実に実施する。
- 言語活動を重視し、思考力・判断力・表現力などの活用する力を育てる。
- 学習意欲を高めるための教材・教具の工夫に努めるとともに、ICTを積極的に活用し、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、補充・発展的な指導など指導方法の工夫改善に努める。
- 基礎的・基本的な知識と技能を確実に習得させるための指導場面や家庭学習の習慣化を図る。
- 外部人材の活用を図るとともに図書室の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させる。
- 指導の過程や成果、評価したことを指導方法の改善に生かし、生徒の学習意欲の向上につながるように努める。
- 各教科において授業改善を目的に、相互授業参観や授業研究、他校の授業参観、研究会等へ積極的に参加する。

(3) 道徳、特別活動、総合的な学習の時間を通じた人間教育

- 道徳の授業を通して生命尊重、思いやり、公共心、人間愛などを重点的に指導し道徳的実践力を育成する。
- 学級活動の時間を大切に、学級への所属感を強めるとともに、学級の問題解決を図る。
- 集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築き、併せて人権尊重の精神を指導する。
- 学校行事を生徒主体で取り組むことによって、自主的、実践的な態度を身につけるとともに、感動体験を味わう。
- 総合的な学習の時間と教科の学習との関連性を通して習得、活用、探究のプロセスを確立し、自らの問題解決力を身につける。
- 自ら体を守ることができるように、体育、健康・安全教育、食育を計画的に行う。

(4) 生徒指導，進路指導，特別支援教育できめ細かな指導

- 教師と生徒との信頼関係や生徒相互の好ましい人間関係を構築する。
- 全教職員共通理解のもと機能する協力体制・指導体制を確立する。
- 早期に変化に気づく教育相談体制と不登校生徒の学級，学校復帰に向けた指導体制を構築する。
- 発達段階に応じた計画的，継続的な進路指導を行う。
- ガイダンス機能を生かし，現在や将来を考え行動する態度や能力を育成する。
- 特別支援教育や個々の困り感を理解し，合理的配慮とニーズに応じた適切な支援を組織的に行う。
- 関係機関（相談機関・警察・医療・福祉等）と積極的に連携し，必要な支援や措置を講ずる。

(5) 部活動，生徒会活動の活性化

- 感動体験の積み重ね，人との絆の大切さを学び，自尊感情を培う。
- 認め合い，支え合い，高め合う集団づくりに努め，学校文化の継承を図る。
- 学校生活のリーダーの育成，学校全体の活性化を図る。
- 部活動を通し，学習意欲の向上やマナー，自主性，協調性，責任感，連帯感などを育成する。
- 生徒会活動を活性化し，生徒自身で主体的，自主的に日常生活の向上を図る。

(6) SDG s を意識した諸活動と学校運営

- 教育活動の実施にあたって，地域（国・国際）貢献や持続可能な社会・共生社会の実現の視点も積極的に取り入れて実施する。
- 予算・事務の執行や施設運営・管理等に，SDG s の視点を取り入れる。